



新規就農先輩の軌跡 No.9

新規就農者の素顔	農業経営の状況（現在）
 <p>氏名：田門 健太 住所：兵庫県美方郡香美町隼人 年齢：25歳</p>	<p>農地：136a（借地4a） 経営内容： ・なし 110a ・その他果樹 15a ・水稲 15a 労働力：本人、両親 出荷先：JA、市場、直売</p>
就農から現在まで	就農で良かった点、苦労した点
<p>鳥取県立農業大学校卒業後、 2006年 就農 現在に至る</p>  <p>なしの大袋かけ</p>	<p>○良かった点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の思い通りにできる自由さがあります ・季節を肌で感じられることから、四季の移ろいを楽しめるようになりました ・家族で経営しているため、父からいろいろと学ばせてもらっています <p>○苦労した点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然相手のため経営の安定化が難しいです ・周りに同年代の仲間がいないのが大変です ・団地でなし栽培を行っていますが、他に後継者がいないため、将来が不安です
農業をめざした動機	後輩へ贈る言葉
<p>代々農業をしているため、子どもの頃から農業は身近にありました。</p> <p>農業大学校に入学し、自分の将来を考えたとき、サラリーマンにはなりたくなかったため、自分で考えて思い通りにできる仕事として農業を選びました。</p>	<p>農業は、しんどいけれど楽しい仕事です。思い通りにならないことが嫌になる時もあるけれど、楽しいときもあります。また、しゃべらない樹が相手のため、自分がやったことに対して応えてくれた時は、とても嬉しく感じます。毎年同じことをしていても同じ結果にならないことの楽しさを見つけてほしいと思います。</p>